川口町公民館報

公民館報

第34号

発行人 関 平吉
編集人 金子 真
印刷所 山勝堂印刷所

年頭の言葉

川口町長 関口淳治

明けましてお目出度う御座います。今年は猪の年で後へは引けない先の明るい年になりそうだと云う事は御同様お喜びに堪えません。

昨年は半歳余りの入院生活で皆様に多大の御迷惑をお掛け致しましたが、町民の多大なる御協力に依りまして、川口町が留守中にもかかわらず益々進展して来ました事に対し心から感謝すると共に、意を強く感ずる次第であります。住民の福祉は産業文化の建設増進であることはもとよりでありますが、町民和衷協調の団結の力が一大原動力となることを忘れてはならない。たとえば新しい建設的事業には、学校統合の完遂を目途とし、更に燃料ガス事業の施設実現、上川土地改良区の百余町歩開田。新農村建設指定町村としての事業の遂行があり尚昭和三十七年に予定されている新道島発電所の建設等大変明るい見透しがあります。かてて加えて町勢自体の大変革期でありますので、町民各位も猪年に物語られる勇猛果敢なる精神を持つて町政に御協力下さるよう御期待します

"学校の施設設備の充実と社会教育活動の推進"

川口町教育長 星野輝政

明けましてお芽出とう御座います。

慌しかつた昭和三十三年の教育界を見ますに年が明けたので総べてが正常とは申されない引続いて幾多の難関が横たわつていることが考えられます。しかし考え方によつては教育の一歩前進であり、全国民挙げて教育の重要性を再認識する絶好の機会であるとも思われますが、昨年同様陰に陽に格段の御支援と御協力を賜らんことをお願い申上ます。年頭に当つて昭和三十四年に取り運びたい事項を二、三申述べさせて戴きます。

一昨年以来町政の大事業として、各階層を通じて真剣に御協力願いました学校統合問題の実現を期したい念願であります。その他各校の施設設備の充実を図りたい。一例を挙げれば、一教室を見るに真昼でも電灯がなければならない程暗い教室、明治時代の古ボケた穴だらけの机、校舎内のスけた壁、児童が一日中学習をするこの教室こそ、やがて時代を背負つて立つ子供達にとつて重要な教育の場であると考えられますので、これ等の環境を明かるく、清潔に、明朗にして優秀な子供を育成するに解決しなければならない大きな問題であり、このことこそ私共に与えられた大きな使命であると考えられますのでPTAを中心として真剣に御研究されて何分の御協力を要望します。

次は学校給食の実現を期したい。将来を背負つて立とうとする前途有望な児童の保健衛生、体位の向上等からみまして給食問題こそ早急に実施をしたい計画であります。更に科学の進歩に伴つて教育課程に是非必要とするテレビ設置の問題等も最早等閑にふすことが出来ない重要な施設課題となりました。町財政の許す範囲において、一歩一歩将来ある子供の為に施設設備の充実を図り、清潔にして明朗な教育の殿堂を築き上げることこそ焦眉の急務でありますが、目を社会面に転じますならば、戦後民主主義社会の新らしい国づくりにあたつては比較的等閑視されておりました社会教育の重要性が大きく打ち出され、公民館活動を始めとし青年団、婦人会、PTAと各種団体の進取且つ自主的な活動が社会教育の主眼である楽しい、ゆたかな仲間づくり、町づくりに相通ずるものとうかがわれ、我が川口町としても他町村と歩を揃えて進めるだけの施設設備の拡充強化が望ましい。特に独立公民館の建設、年間を通じての就学前児童のための保育園の設置と枚挙にいとまがないのでありますが、逐次これが解決への努力は皆さんと共に惜しまない心算であります。

将来に目を向けた学校教育へのお力添えを併せて現在に目を向けた社会教育へも格別にお願いし、川口町発展のために猪年にあやかるが如く誠心誠意努力を惜しまないものであります。

登山にたとえて遥か頂上を仰ぎ牛歩の如くうまずたゆまず進まねばならぬことを年頭に当り皆さんに所信の一端を述べて格段の御協力を要望いたします。

ガスは安いか●●……

……(ガスの種類及び特質)……

燃料用のガスには石炭からとる石炭ガスと、地下から噴出する天然ガスの二種類あります。(田麦山のガスは天然ガスです。)石炭ガス(一名都市ガスとも言います)には一酸化炭素が含まれているために悪臭があり、人体にも有害となりますが、天然ガスは無臭無毒であつて石炭ガスのように中毒騒ぎの心配がないばかりか、熱量も石炭ガスより高く料金が安いのが特質です。

石油や石炭のように煤、硫黄、その他の不純物が含まれていないから、使用の際に不快な感じは絶対になく一般工業、食料品工業、醸酵化学工業用にも適しています。

石炭ガスの標準熱量(一キロカロリーとは一立の水を摂氏一度上昇させる熱量)は一立米当り四、〇〇〇キロカロリーですが、天然ガスは九、〇〇〇キロカロリーから一〇、〇〇〇キロカロリーとされておりますので、空気を注入して二倍余りに薄めて使用することになります。

その他ガスコンロは石油コンロ等に比し、手数が省けきれいであつて、火災の心配のない点等はるかに優つております。

(ガスは安い)

一升の炊飯に要する燃料費

種別	単位	カロリー	単価	消費量	金額
薪	瓩	三、〇〇〇～四、五〇〇	五円	〇、八	四円〇〇銭
木炭	〃	[illegible]～六、〇〇〇	二七	〇、一五	四、〇五
石油	升	一〇、〇〇〇～一一、〇〇〇	四八	〇、〇五	二、四〇
石炭ガス	立米	三、八〇〇～四、〇〇〇	一六、五五	〇、二	三、三一
天然ガス	立米	九、五〇〇	一四	〇、一五	二、一〇
電熱	キロワット時	八六〇	一〇、一一	〇、七	七、〇八

新農山漁村(新農村)建設事業

予備地域指定とその後の動き

昨年十二月十一日県農山漁村振興井上顧問並に池田主任来町、川口町初回の振興協議委員会を開催、これを機会に川口町の農業振興による新しい町造りの基礎を造り上げるべく、準備委員を選任し、去る一月十一日の準備委員会に於いてその準備委員をそのまま振興協議会委員をして出発、一同異議なく承諾し、委員の内より左の通り役員を選任した。

会長 関口 淳治
副会長 大淵鉄太郎
監事 星野藤一郎
監事 佐藤角一郎
監事 内山 長三

協議委員

部落名	氏名	役職名
	関口 淳治	町長
原新田	山田 寅之助	議長
川口三	上村 忠作	農委長
	星野 藤一郎	川口農業組合長
	森山 彬一	田麦山農協組合長
中山	古田島和太郎	森林組合長
八郎場	喜多村 清松	漁業組合川口
原新田	小宮山 庄平	土地改良川口原新田支部長
牛ケ島	丸山 喜一郎	土地改良上川地区
西倉	関 富茂	土地改良上ノ原
下村	喜多村 友蔵	土地改良和南津
〃	喜多村 喜市	部落総代
〃	荒張 久明	農事実行組合員
中山	古田島 隆一	農事実行組合員
川口一	小山 茂雄	農研
〃	樫田 チツ	婦人会
岩出原	星野 源吾	農事実行組合員
新敷	小宮山 賢吉	町議会議員
中新田	関 市作	農研
相川一	鈴木 栄次郎	部落総代
相川一	石坂 勝正	農事実行組合員
牛ケ島	丸山 省三	〃
田麦山	内山 長三	〃
〃	大淵 洋治	〃
木沢	星野 武夫	〃
荒屋	佐藤 角一郎	学識経験者
武道窪	綱 治平	〃
川口三	青柳 弘	〃
川口一	河上 徳太郎	〃
田麦山	大淵 鉄太郎	〃

今後の運営はよく協議会の議を経て事業を推進して行きたい。

尚去る一月十一日の協議会には稲作、養蚕、畜産に重点を置いて振興策を樹てることとし左記の事業種目が予定された。

かんがい排水、農道、林道、開墾、ブルトーザ購入簡易さく道、共同作業所、共同養魚施設、共同乾燥施設、共同桑園、集乳所

歳末たすけあい運動の実施にあたりて

例年歳末に際して生活困窮者、留守家族、長期入院患者等に対したすけあい運動を実施し多大の成果をあげて参りましたが、本年もこれらの慰労激励と地域の方々のたすけあい精神昂揚のため、歳末たすけあい運動を実施しました処、年々上昇しつつあるたすけあい運動が、本年は特に上々の成果を修め、初期の目的を修め、初期の目的を達し居られました事は一重に町民各位の絶大なる御協力による処であり、感謝いたして居ります。なお、本年度の成果を左記のとおり報告いたします。

歳末たすけあい運動結果報告

一、収入及び支出(総括表)

収入

戸別募金	一七八七二
町から	五五〇〇
共同募金	四二〇〇
同胞援護金	四〇〇
合計	二七九七二

支出

慰問金	二二一〇〇
慰問品代	三〇五〇
雑費	一〇五〇
合計	二六二〇〇

二、収入内訳(戸別募金)

和南津	一一五	一二三一
中山	一一三	一五一三
川口	二五八	四四六八
西川口	二五一	三四六〇
牛ケ島	五九	七八〇
武道窪	四一	七一〇
相川	九四	一〇〇〇
荒谷	二七	三四〇
駅	二八	五五〇
田麦山	一七六	二三二五
木沢	一〇八	一四九五
合計	一二七〇	一七八七三

三、支出内訳

保護世帯	三六	一〇七〇〇
老母世帯	九	一八〇〇
留守家族	四	一二〇〇
長期療養者	二三	六九〇〇
養老院	四	一二〇〇
収容施設	一	三〇〇
手拭	九〇	二二五〇
のし袋	九〇	五〇
同情袋	一五五〇	一〇〇〇
餅	五升	八〇〇
計		二六二〇〇

差引残金一七七二円は川口町社会福祉協議会へ繰入させて頂きました。

三、たすけあい持寄り運動

これは本年始めて実施するに当り川口町婦人会の御協力により予期以上の成果を修めました。

1、持寄られた飯米量六斗五升
2、慰問対象人員 一二五名
3、一人当り慰問量 約五合

オメデタ

田麦山	桜井 貞幸
東京都	楠 美名
田麦山	涌井 武雄
小千谷市	水落キクエ
小高	大淵 計
東京都	井沢 ナカ
田麦山	佐藤 信夫
広島県	広瀬ミツエ
山相川	黒島 正夫
〃	黒島マサイ
田麦山	内山 兼男
小千谷市	鈴木サチ子
東京都	今井麻太郎
田麦山	小見キクエ
東京都	杉本 正男
田麦山	渡辺シズエ
田麦山	森山 勝平
十日町市	丸山ケサノ
田麦山	大淵鉄三郎
〃	大淵 ラミ
田麦山	森山 晋作
堀之内町	渡辺ヨキ子
田麦山	桜井 一郎
愛知県	山下とみ子
大阪府	大久保 一
田麦山	渡辺シイ子
和南津	関 百延
南魚沼郡六日町	上村 ケサ
和南津	喜多村四郎
兵庫県佐用郡	山本 祐子

(二頁へ続く)

分館便り

川口分館の動き

川口町の中心分館として、活潑に動いているこの公民館では、昨年の秋以来幾多の行事を行い、各町内会から喜ばれているが、主な実施状況をひろつてみよう。

× × ×

㈠ 町民大運動会

夏休中に実施する予定であつたが、長雨がたゝつて延々となり、結局十一月三日の文化の日に商工会とタイアップして盛大に行われた。この日他に行事のなかつたせいか、幼稚園のお子さんから年寄りさんまで加わつてまさに家族こぞつてのお祭りさわぎ、楽しい一日を送つた。

× × ×

㈡ なんでも殿(第三回)

毎年好評のなんでも殿も、今年はいろいろの都合で十一月三十日川口中学校の芸能祭と併催されたが、時期的に遅かつた事と、天候がわざわいして、例年どおりの賑やかさはなかつたが、それでも珍品貴品を見たいものと押し寄せたお客さん方は延にして千人は超えただろうと、当事者を喜ばせていた。

× × ×

㈢ 新春カルタ大会

昨年始めてのこころみとして開催し、非常に盛会をおさめたので、今年も七日正月の夜七時から分館(宝積寺)で開催された。集まつた腕に自まんの面々は、昨年に比べてやゝ少なかつたようであつたが、それでもいざ試合となるとなかなかの賑やかさであつたと結構大会気分を燃え上らせた。特に、かつては県下で制覇の経歴をもたれる川口郵便局長樫田一郎さんも顔をみせられて、終始熱心に観戦されていたが、来年からはもつともつと大勢参加されたいことを当事者は呼びかけていた。

田麦山分館

一、改称

町村合併と同時に単一化を図つたが、実質的低下を来さない為内容は独立の公民館当時と変らない様にし、名称も地区館とした。然し目的は各地域の活動水準を上げるにあるので単一化の実を上げる第二段階として本年度は分館名とし内容は尚従来通りとした。

二、組織、運営

従来は各種団体長、区長よりなる二十名の審議員を有し本校区1、分校区2の分館による経営をし、川口本館には代表審議員3名を出していたが、名義上審議員を廃して本館に3名の審議員を出し、事実上は旧来の審議員による運営協議会を設けた。

運営は従来と変りなく本校区、分校区それぞれ協議会をもつて運営している。

田麦山分館長は現中学校長之を兼ね。小高、山相川は区長が之に当つている。

三、本年度運営概況

㈠本校区

1.映写会 主催2 協力14(業者によるもの3、他は資会カンパ等)
2.吟詠会6(内発会式1)
3.体育、舞踊 武道大会1 柔道練習10 舞踊会7 学区民運動会1
4.講習、講演 婦人講座2 婦人講習1 研究会1 講演会1 研究会出席3名 講座出席3名 技師講習2名
5.青年学級(女7男38計45名) 一般教養15時 職業指導10 体育関係50 その他5

㈡小高分館

1.映写会 主催2 協力1
2.体育、舞踊 民謡踊り1
3.講習、講演 農事講習会(4Hクラブ担当、普及員指導)18回(三月末までに23回) 婦人講習、講話3
4.青年学級(男12女10計22) 一般教養20時 家庭科21 職業科12 其の他18
5.運動会、演芸会 部落運動会1 演芸会1

㈢山相川分館

1.映写会 主催2 協力3
2.体育、舞踊 部落運動会1 踊り練習1 盆踊り大会1
3.講演、講習 講習会2 講演会1 農事研究会25 演芸会1
4.青年学級(男10女8計18名) 英語、理科32時 音楽5 家庭5

以上で各分館の動き概要を記したが、今後尚本将棋会、講演講習等が予定されて居りその他既に行われた敬老会は各分館の婦人会が之を担当せられ、教育長さんの御臨席、其の来賓として助役さん等多数の御臨席を得て盛大且つ有意義に行われた。

殿方に一寸申し上げます●●●

戦後幾年……人と言わず物といわず、日に日に向上しつつあることは誠に喜ばしい事でございます。此の様な世代に私し共主婦でさい多少なりとも恩恵を被る喜びを味わう事の出来る事は幸福というべきではないでしようか。又主婦の身としてこうした紙上をお借りして、失礼な自分を思うがまゝに吐き出す事が出来るそれすらも世代の恩恵の一端かと思います。然し一歩ふりかえつてみました時に果して多くの主婦が此の恩恵の喜びを味わいつゝ日日の仕事に精魂を打込んで働いておい出でしようか…?…今更申上げるまでもなく長い人生には幾多の起伏がございます。病気、金、子供といつた様な色々の面で思い悩んでいらるゝ方々もたくさんおありかと考えられますけれども、此の様な事態は努力次第、気の持ち方、頭の使い方等によつてある程度解決出来るもので、さほど人様の思う程に害にならない場合があるのではないでしようか。

然し如何に気を持ちなほして頭を百パーセントに働きかけても解決出来ず、理解も出来ずしてこのため幾多の主婦が憤慨し悲しんでおりますといつても決して過言ではないと思います。

ここで一寸殿方にお願いして置きたいのでございます。

賢明なる殿方は別として…?世にいう所の「わからず屋」「わがまま」といつたような殿方。社会的教養がかけたとでもいいましようか……これは自分の良心を自身で判断してみて下さい。必ず身心で冷静に判断して戴きたいと思います。わかるようであつて案外わからず屋の多くあるのが殿方ではないでしようか。(ゴメンナサイ)

政治論、経済論といつたようなこむずかしい事柄を沿々と論じ一見知識階級者とみられる方でさいいざ要学……?という面になるとさつぱり駄目(少し大げさな自分かもしれないが)要は家庭道具の一つにすぎないといつた価値評価が殿方一般の中に公式相場のように決められているのではないでしようか。「まさか今の世に」などと一笑される殿方もおありでしようが。お笑いになつて戴けたら本当に幸いでございます。その点こそ御願いすべきところですが然し笑う前に今一度心の診断をしてみて戴きたいと思います…?。

戦後この様な田舎でも時の流れに乗りまして主婦の会合が盛んになり、ほんの僅か乍らも社会的視野が広まつて来たことは事実かと思われますこれに反し父親教育の場があまりにも少ないのではないでしようか。

此の事に就いて、先般ある新聞に殿方の社会教育が必要と中条公民館がトップをきつて行うとの記事をみまして、此れがスムースに行われてこそ解決の段階に入るのではなかろうかと痛切に感じました。川口町公民館もここまで手を延ばして実現化せらるるよう一段の御骨折を切望致します

町民卓球大会

優勝青年協議会

去る十五日成人の日を記念して参加十チームを数え第一回の町民卓球大会を行つた。

参加チームの内容は役場A、Bと二チームを始め農協、銀栄会、中学生、学校職員、蚕種協同組合と豪華な面々、かつての腕にものをいわせ、延々四時間余りその技を競つた。成績次の通り。

一位 青年協議会
二位 中学校Aチーム
三位 中学校Bチーム
四位 役場Aチーム

この大会には優勝杯が出ており、毎年一月十五日に行うよう公民館で年中行事として実施する考えである。

私は春を待つている

冬期分校訪問記

年の瀬もおし迫つた暮の二十五日、川口小学校牛ケ首冬期分校を訪ねてみた。

四ケ月もの間本校の友からはなれ、小さな教室で一年生から三年生迄一緒になつて勉強しなければならない子供たち、考えると淋しいだろうし可愛いそうなようだが、元気に遊んだり勉強している様子を見るとそんな気持はなくなつてしまう。

雪に埋もれて四ケ月、施設教材に乏しい環境の中で、せめて教師、児童一体となつて毎日楽しく過すことが出来るならば、その子供達にとつて終生忘れることが出来ない美しい思い出となるだろう。

珍らしい人がくると無心によつて来ていろいろ話を聞く明るい子供たち、頑張るんだよ しつかり勉強するんだよと心の中で何度もくり返し乍ら夕日に映える八海連山を眺め学校をあとにした。

○窓には寒い北風が
野越え、山越え吹いてくる
小鳥はないて春を待つ、
ぼくらはうたつて春を待つ

K生

川柳

年の瀬も　美智子ブームで　年をこし
元日紙　美智子ブームで　花がさき
おさなごも　美智子ブームで　口ずさみ

◎お願い

去年の五月二十二日に行われた衆議院議員選挙に際して発生した、衆議院議員候補者あるいはその秘書等にかかる、いわゆる言論買収(新聞雑誌の不正利用)被疑事件を検察官が裁判にかけない(不起訴)ことが妥当かどうかにつき、現在新潟検察審査会で審査しておりますが、審査の参考にしたいので、もし皆さまの中で衆議院議員候補の写真が表紙に掲載されている「月刊政界」という雑誌の去年一月号から四月号までのもの(大きさ及び厚さは週刊誌位)及び右雑誌の号外と称するチラシの配布を受けられた方がありましたら至急お知らせ下さい。

連絡先は郵便の場合は「新潟市学校町一の一 新潟地方裁判所構内 新潟検察審査会宛」とし、又電話の場合には「新潟局㉒局四一三一番」にお願いいたします。

二重加入被保険者なくなる

新国民健康保険法は一月一日から施行されたが、差当つて新たに健保共済等被扶養者の資格を取得した者は、国保の被保険者となることができなくなつた。

また現在被保険者である者は三十六年三月三十一日まで被保険者の資格を喪失しない。

((詩))

新しい朝に

泉水小 六年 宮 国樹

上る太陽
まつしろな雪
のき下に
すずめが五、六羽遊んでいた
うれしそうにはね上つた
「やつぱり僕らと同じ様に年が一つ多くなつたのかな」
もう少さな子供がこしきを持つて
だるまを作つていた
みんなうれしそうだ
僕もうれしかつた
野も山も
一面に雪で白くなつた
家の前を通つた人が
「おめでとうございんす」と言つた
だれに言つたかわからない
又どこかで
「今年もよろしくおねがいします」と答えた
答えた方は
くらの後の方だつた

風

泉水小 六年 宮 定男

学校のかえり
スキーに乗つてくる
夕方の風が
ぼくのほつぺたにあたる
つめたい風
けれども力いつぱい乗つて下りた
もうじき家に着くぞ
風はまえより強くなつた
さつきまで見えた家が
見えなくなつた
道もわからなくなつた
やつとやんだ
ぼくは
「ああよかつた」と
いそいで道をはしつた
きつと
家のめん羊も
むかえてくれるだろう

朝の道

泉水小 六年 山崎 孝二

もう
朝ごはんのしたくができていた
外は雪がふつたように
一面まつ白だ
「夏の朝はこんなでないが冬のはじめはこうなるのだな」と思う
「あつ」しもばしらだ
しもばしらが高い
もうすぐこのへんは
まつ白い雪でうまつてしまう
道にでると石までこおつていた
ほりには氷がガラスのように光つていた
自動車だ
水たまりの氷をわる
「パリツ、パリツ」
自動車のあとから
寒い北風が
ぼくの耳を赤くさせた
風はぼくがにくいかのように
吹いていつた

編集後記

明けましておめでとうございます今年もよろしく公民館報をかわいがつて御指導下さい。毎度おねがいしているのですが原稿の〆切りはありません。いつでも思いついた時に書いてお寄せ下さい。新年号ですので増頁で組んでみました。二月号から又新しい企画でもつと町民の皆様の中に入つていきたいと思います。

33,12,20 選挙人名簿確定登録人員数

投票区	男	女	計	
第1投票区	561	627	1.188	川口
2 〃	261	290	551	和南津
3 〃	422	479	901	西川口
4 〃	59	55	114	西倉
5 〃	125	150	275	牛ケ島
6 〃	243	246	489	相川
7 〃	55	58	113	荒谷
8 〃	286	312	598	支所
9 〃	101	104	205	小高
10 〃	55	66	121	山相川
11 〃	190	197	387	木沢
	2.358	2.584	4.942	

私の初夢は……
……新春放談会……

語る人
教育長 星野輝政氏
婦人会 窪田テツ氏
青年会 平沢直哉氏
4Hクラブ 山田宗一郎氏
商工会 上村喜平治氏
司会 関丑松氏
主催者側 関平吉氏
金子真氏

新春おめでとうございます。
何年ぶりかで、雪のない元日を迎えた猪の年。
しかも、国民が久しく待ちこがれていた皇太子のご結婚が、いよ〳〵この四月に取り行われるという明るい希望に満ちた年。
そして一方、ソ聯の科学者達は、ついに宇宙ロケットの発射に成功し、人類の夢は宇宙制覇にそゝがれようとしている年。
この極めて意義深い新春に当つて、日頃町発展のためご健斗されている各職域の代表の方々からお集りを願い、元日の感想や、今年の抱負についてザックバランに放談をお願いした次第である。

関 おめでとうございます。今日は新春放談ということで、ざつくばらんに話をしてもらうという計画ですがよろしくお願いいたします。

司会 最初に初夢というようなところからひとつ……。

星野 いゝ夢をみようと思つていたがどんな夢を見たかわからない。

平沢 私は酪農関係の夢を多く見たようだ。特に土地改良とか、酪農に関する夢をみたようだ。

司会 初夢としてはいい方ですね。

山田 私は家の近くで火事があつたりして、そんな夢ばかりみておちつかなかつた。

窪田 日がたつと忘れてしまつて。

司会 話題を変えて皇太子妃問題についてどうぞ。

平沢 民間人から選ばれたこと、又御交際もあつて自由に選ばれたことなどについて印象的だ。

山田 これからの若い人は自分の配遇者は自分で見つけるという信念をもつべきだ。そうゆう点でこの問題は我々によい範を示してくれたと思う。

司会 親の立場としてひとつ。

窪田 時代にふさわしいことだと思います。

星野 美智子さんが、天皇家へ嫁ごうと決心した点について実に偉いと思う。又すべての報道機関が歩調をとつたということについても、やはり皇室のありがたさが伺われる。

司会 関連した話しで結婚観について伺いたいのですが

関 同居、別居について。

星野 同居しても、別居してもお互いの考え方が問題だと思う。嫁と姑の理解が肝要じゃないか。

山田 農家の場合は別居は無理だ。

星野 最近は社会教育の進歩で大きく嫁、姑の問題が取り上げられてきたし婦人活動も活溌になつてきたようだ。

司会 楽しい家庭を作ることが明るい国づくりにつながつているということですね。話題が飛躍しますが、宇宙ロケットについて。

山田 私共百姓には夢みたいだ。時代においていかれるようで情なくなる。

平沢 現在の科学進歩を平和利用するのであれば人類の進歩をして喜こばしいことだと思う。

窪田 どうも宇宙ロケットといわれてもピンとこない。

司会 それぞれの立場において今年の抱負をひとつ。

平沢 青年団としても今年は他団体との歩みよりを強くして事業を進めて行きたい考えだ。

窪田 婦人会も今年は先年度の反省を加えて慎重にやつて行きたい。

山田 4Hクラブとしても土に向かうだけでなく、お互い同志もう少し話し合いをもち、他団体と密接なつながりをもちたい。

――商工会代表入場――

星野 その会だけで固まらず総協議会というようなものをもつことがそのグループの発展に役立つ。

窪田 婦人会なんか家庭の事情もあるがもう少し若い人達が指導的立場にあると活溌になると思う。

星野 最近は婦人活動も盛んになつてきて方々で母親学級が開設されてきた。

窪田 学校側でもう少し積極的になつてくれないと私共も動きにくい。時間的なものも考えねばならぬ。

司会 商工会として何か――

上村 商人だからといつて人間らしい生活をしたいというのが我々の願いだ。

司会 今後の発展策について

上村 計画は立てているが、スキー場の問題 ガスの問題、水道問題と商工会とも深い関係にあるので協力していきたい。

司会 この辺で教育面について伺いたいのですが――。

星野 何をしても来年は学校統合を実現させたい。又僻地教育の振興を図らねばならない。公民館の建設も実現させ社会教育の進展を期したい。

司会 婦人会として学校教育へ望むものは――。

窪田 社会面は私らより進んできたが、躾の点で心配がある。道徳教育も実施されているのでよくなると思うが。

平沢 青年会としては学校給食を実施し、児童の体位の向上に力を入れてもらいたい。

山田 中学校でもう少し農業技術を身につけて卒業出来るよう指導してもらいたい。

星野 農業技術の問題も、学校給食の問題も考慮したい。

上村 商工会としては、町財政を重視し、地域に即した教育内容を取り入れてもらいたい。少なくとも義務教育を卒業したら新聞位読めるように。

司会 最後に公民館に望むものを。

山田 是非独立公民館を建ててもらいたい。

窪田 どこが公民館だかわからないのでみんなの利用ということも考えるとやはり独立のものがほしい。

星野 公営結婚の問題も来年の事業計画の中に取り入れて審議会の人たちと話し合い実現させたい。又先進地の視察も大いにやりたい。

司会 でわこの辺で放談会をおわりにしたいと思います
ありがとうございました。

（後記）どうも不馴れな司会者や、主催者側の不手際から折角お集りを願つた方々の言葉をうまくまとめることが出来ず又、内容についても通り一ぺんに終つたきらいがありましたことを、この紙上をかり深くお詫び申し上げます。

〝一年の計は元旦にあり〟とやら、皆様にもそれぞれの夢あり、希望に燃えた放談を交されたことと思います。ご健斗を心からお祈り致します。

おらが町の産業と観光廻り

川口が町制を施行してから早や三年目を迎えたが、町としての形態はまだ〳〵これからというところ、しかしこの小さな町の産業、観光界を眺めるとき、規模において大小の差こそあれ、他町村に誇り得るいくつかの施設を発見することが出来る。だが、この実態や内容について案外しらない人が多いのに驚くが、その概要を町民に知らせることも、あながち無意味でなかろうと考え、号を追つて一つ一つこれ等の施設にスポットを当てゝみたいと思う。

（その一）川口孵化場を尋ねて

からりと晴れ上つた新春にふさわしいある日、筆者はまず手始めとして川口の孵化場を訪れてみた。玄関のドアをたゝくと場長の中林利喜治さんがあいそよく迎え入れてくれ、書類の整理で忙しそうなところをわざ〳〵手を休め筆者の質問に答え、丁寧に現場を案内して詳しく説明をしてくれた。

県下に六箇所しかないといわれるこの孵化場がもつとも充実し、採卵数も最高であることを知つたとき、目の前に住んでいる私共が余りにも無知であつたことに今更ながら驚いた次第である。

× ×

現場に案内されると丁度今卵のまゝになつているもの、卵から半分位い体を出して時々思い出したようによろ〳〵と泳ぎ出すもの、完全に卵から離れ小さいながらも鮭の子として我がもの顔で泳ぎ廻つているものと三段階に分れている。

採卵は十一月の上旬から始まり、十二月の末まで行われるが、大体四〇日から四五日位いで卵の殻から体を出しはじめ稚魚となる。それから更に五〇日位い立つともう完全に鮭の子供となつて、一人育ちが出来る頃となるので放流するが、この時期は早いのは二月の末から始まり、大体四月の末までには全部放流される。昔はもつと大きくなるまで飼育されていたそうだが、こゝにも合理化されてきたことが伺われる。

× ×

今年の放流予定数は約百七十万尾といわれ、これは今までの最高であろうと云われる。この数字は県で決定してくる訳だが、昨年は不漁がたゝつて地元での採卵が思うように出来なかつたため、わざ〳〵北海道から百万近くの卵を買入れたとの話しである。

とに角今年は昨年の三倍近くの鮭が放されるのであるから、早く大きくなつて目出度く又この川に帰つてきてもらいたいものである。ともあれ最近の魚獲高は昔に比べはるかに下廻つていることが定説だが、これには信濃川分水、発電工事等の影響があるにせよ、なんとか是以上の収益を上げるべく方策を樹てることが当面の重要問題であり、これにはやはり政治的な解決策が必要であろうと筆者はつくづく感じさせられた。

× ×

この孵化場が設立されたのは明治二十六年であるから今年で六十八年目を迎えた訳だがその歴史は古い。そして今の場所に建物が出来たのが明治四十年であるから五〇才以下の人にはわからないことになる。場長の中林さんは今年五十七才でなか〳〵の元気者だが、この土地の出身で前場長の中林雅太郎さんとは従兄弟に当る。この道にたずさわること既に十数年の経験をもち古強者である。職員は他に三人いるがうち一人は大和村浦佐にいるそうだ。昨年までは県立として県の所属であつたが、今は魚沼漁業組合の所属となつているとのことである。

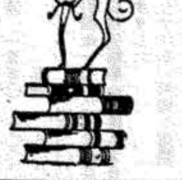
（次回は「新潟毛皮会社を尋ねて」の予定）。

オメデタ
（一頁より続く）

田麦山	桜井文夫
川口	中林サト
相川	広井一雄
〃	小川千枝
長野県長野市	原博美
川口	上村富代
名古屋市中村区	小森武
川口	上村良子
小千谷市稗生	篠田庄平
武道窪	平沢ヒフミ
東京都町田市	長田精吉
和南津	喜多村フミエ
川口	中林辰夫
木沢	星野チル
川口原新田	小宮山本一
中山	渡辺トシエ
西川口	佐次二三生
三島郡二和村	高橋勝
川口	堀沢辰雄
山口県下関市	伊藤恵子
小千谷市	丸山次也
和南津	渡辺セツ
中山	星野勘平治
小千谷市塩谷	星野智恵子
小千谷市	高橋昭三
川口	渡辺ミイ
小出町	下村正
川口	星野良枝
古志郡山古志村	岡本源次郎
相川	広井ヒデ
川口	金子真
小出町	小池ヒナ
川口原新田	原田己勇吉
和南津	関口初栄
堀之内根小屋	星野直一
和南津	喜多村ショノ
堀之内町和長島	伊師治造
中山	星野ウタ
和南津	喜多村暁
堀之内町	関ヤイ子
古志郡山古志村	星野仙嗣
中山	星野千恵
牛ケ島	関芳一
小千谷市真人	大淵セイ

（私の作文）
新年になつて
田麦山小 六年 森山千代子

私がこの一年について、だいたいの計画を立てたのは次のようなことです。あと三ケ月たつと、私たちは小学校を去つて中学校へ進学します。そして中学校には、おねえさんやおにいさんがたくさん居る。私は上級生のわる口をいつたり、ちよつといたずらをしたりすると、いじめられるかと心配だ。でもみんな親切だからうれしい。私は新しい年をむかえたので年が満で十三になつた。私が弟や妹とけんかをするとおかあさんは、「おまえはいくら年をとつても前とおんなじだな」としかられた。私もけんかはしたくないのだが、小さい弟などがけんかをしていると、私がそこに行つてとめようとする、私までけんかになつてしまうのだ。こんどからは、けんかはなるべくしないようにしたい。中学生になると放課後、部活動がある。その時はどの部に入ろうかと考えたがバレー部に入れよ、卓球部に入れよ、と言うがどつちに入ればよいかまよつてしまつた。でも私はバレーがすきなのでバレー部に入ろうと思つた。それから、新年になつてからは、おめ出たいことばかりだ。それは皇太子様の結こんする日がきまつたことだ。私にとつては中学生になることです。これからは、一生けんめいに勉強したいと思つています。



希望をもつて進もう1959年を

私たちの作文

とりおい
川口小 五年 佐藤恭子

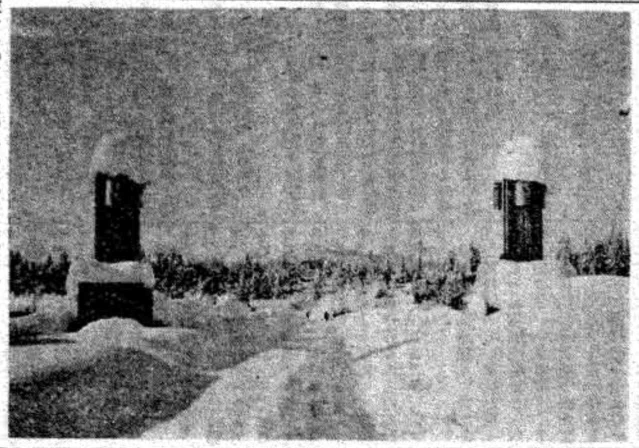
一月十四日はほとんどの子供がどうを作つてとりおいをやることでしよう。でもわたしは、かてゝくれる人がないのでだめでした。いもうとは、中学生の人からかてゝてもらつてとてもうれしそうです。うれしそうな所を見るとわたしは家の中にはいつてないてしまいました。そうすると母が来て「きよう子おまえもしたいんだろう」といつた私はだまつていた。また母が言つた「そんげにかてでもらいてんならえみ子のようにはつきり言つてかてでもらえ」といつて外に行つた。母はそういつてくれたが私は、はずかしくて言われなかつた。いもうとは夜になるにつれてよろこんでいる。夕ごはんがおわつた。兄といもうとはつれだつて行つた。わたしがこたつにあたつていると母がなにかにているようだ、「かあちやんなんだ」と聞くと「恭子とさとみに、にざいまめでも作つてやろうかと思つて」と言つた。母のことばがやむと外でだれかがよんでいるような気がした。こうきこえた「恭子すすけどうへこいや」と言つた。わたしはとてもうれしかつた。わたしがしたくをしていると、ひよつときがついたそれはさとみだわたしはうれしいけども、さとみはしよんぼりしていた。わたしが母に言つた「里美どうする」といつたら「かわいそうだどもおいていくよりしかたがないここから早く行け」といつてまめともちときなこをわたしにもたせた。となりのよう子さんもかず子さんも行つた。どうにいつてまめを出した、よう子さんはアメを出した。わたしがまめを出すと一人手をだした、また一人そのうちにさじのとりつこです。「おれにも」「おれにも」といつてやかましくなつた。中学生のたけしさんが「やかましいぞ」といつて、どなつたらみんなしずかになつた。わたしはそこらを見まわしていた、すると小さくよこあなをほつた所を見つけた。そこにはもちとみかんがかざつてあつてそのよこにろうそくが立つていた。みんなはたのしそうにもちをたべたりお茶をのんだりしていた。そのうちに五、六人の人がたつてとりおいに行つた。わたしは本をみていた、そのうちに、あまもりがしてきた。男の人がシートの雪をはいてくれた。あまもりがなおつたので、らくらくとあそんでいると九時ちかくなつたので、わたしはいもうととかえつてきた。いもうとはげんかんにはいると「もち三つくつてきた」と、たのしそうにいつた。「恭子は」ときいたのでたべんかつたといつたら「ばかだなあ、もちたべてこないなんて」とおかしなことをいつたので、わたしはべそをかいた。すると兄がランプのしんをとりにきた。おかあさんがもちをたべてこなかつたことをいつたらしく兄はきなこもちをもつてきてくれた。私はこたつにもぐつてもちのことなんか言わなければよかつたと思つた。ひかんなんかしていないのにと思つていると、母があたたかいもちにきなこをかけてもつてきてくれた。母も兄も私のことを思つてくれたんだと思うととてもうれしかつた。

新しいノート
田麦山中 三年 内山悖子

元旦の夜の事であつた。一家そろつてこたつにあたつていた時、父が一冊の新しいノートを持つて来た。そしてわたくしに「鉛筆を貸してくれ」と言つた。わたくしは何をするのだろう不思議に思いながら一本の鉛筆を父に渡した。すると父は、少し微笑しながら「皆んな今日はどんな物をいくら買つた」と、太い声で少し恥かしそうに問うのだつた、わたくしはその時父が何をするのかはつきりわかつた今年一年間の収支を記帳してゆこうと考えいているのである。今までそんな事を一度もやつたことがないのに。母はそれを聞えて声をたてて笑つた。そして「十日も続けられたらえらいよ」と言う。それを聞えた父は、思わず笑つていた。やつと笑いのおさまつた母は、それでも「今日は菓子を百円買つた」など、いろいろ報告していた。父はそれを一生懸命ノートにつけていた。時々鉛筆をなめたり、指につばをつけて何か消したりした。後でわたくしは、そつとノートを開いて見た。所々に指で消した跡が黒くよごれていた。それにとても見にくい。

翌日の晩感じたことを皆んなに話した。母はノートをのぞいて、本当だといつた様な顔をして「こうして書けば」と言つて、父からノートを取つて新しく書き直した。父の書いたのよりもいくらか良かつた。それでもまだ見にくかつた。それでこんでは、わたくしが「こうしたら」と言つてノートに書いて見せた。父も母もそれに賛成した。その結果今ではわたくしの提案した記帳を実行している。始めた日から、まだ二十日もたつていないのに、今までに二日も三日もためてつけたことが何回かあつた。このぶんでは、今年一年中続けることが出来るだろうかと心配だ。

しかしこのノート一冊に、ますます家内中の心が結びつき楽しい明るい一九五九年を送りたいと思つている。



新しい年を迎えて
田麦山中 三年 大淵澄子

わたしにとつてこの年は、ほんとうに意義深い年であり又今学期は学校生活最後の学期でもある。

三月を迎えると三十五人の友達は、進学するもの、工場へ行く者、商店へ勤める者と色々な方面へとび出して行く。わたしもまだはつきり決定とはいえないが、ある製造業へ就職することになつている。わたくしは、何事もまじめに働き、ちよつとの事にくじけず、がん張つて行こうと思つている。先輩の人達に、いじ悪るをされるかも知れない。又かわいがられるかも知れない、だが、いずれにしても、どこに行つても、しんぼうは大事だ。たまごから、かえつたばかりの、ひよこのように社会へ出るのは珍らしいものでも見るような気分になりがちだと思う。中学校では、三年生が一番上だと、気分の上ではいばりたいようだが、これからは又新しい社会の一年生だ。大人に混つて生活して行かなければならない。社会の荒波にぶつかつて、自分というものを自分自身で育てて行かなければならない。何だか社会に出るのは恐ろしいような気がするがどうせ親のそばにばかり居られないのだ。新年を迎えて私も皆んなに負けず立派な立派な、自分を作り上げて行こうと決心した。

鳥追い
川口小 六年 内藤孝司

一月十四日。今日はまちにまつた鳥追いだ。鳥追いというのは、今年も米などが豊作になるように、鳥を追いはらつてしまう。と、いう意味でやるのだそうだ。

学校はおひるで放課になつた。今日は学校へ残つて遊んでいる者は一人もいなかつたぼくも急いで家に帰つた。ひとりで御飯を食べていると、となりの一年生のとしぼうが「おうい。孝司ちやん早くどう、つくろうやあ」と言つた「今ごはん食べてからいくいやあ」「はやくこいのお」二口、三口食べたころ「まだけえ、おそいねえ」。これじや落着いてごはんを食べていられない。おつゆをかけてサラサラッと、流しこんで外へ飛び出した。始め雪を二メートル位積み重ね、こしきで四角に形を作つた。さあ今度はいよいよ中を掘る。今まで手伝つていた、としぼうの弟のゆきぼうも妹の和美もちよろちよろと、大変うるさかつたので「ねら、あつちへいげえ」と言つて追いはらつた。ぼくは大きいどうを掘り、としぼうは小さいどうを積み上げた。一カ所に土が出た時はうれしくて仕事があまりはかどらなかつた。が、としぼうと相談して風よけを作ることになつてからはいつしようけんめいした。としぼうはいやになつたらしく「孝司ちやん、こんだむしろかけらんけえ」と次のことばかり気にしている入口を掘る時、としぼうは外から僕は中から掘つた。ポカンとあながあいたとき。としぼうは、「開通だ。開通だ」とはしやいでいた。やつとみんなほつて三メートル位の板をかけていると「孝司ちやんこれ、上へかけろうやあ」と、としぼうがむしろ三枚持つて来た。

むしろをかけてから、夕飯のしたくを手伝いに家に入つたが、ゆきぼうやとしぼうが「孝司ちやん早くしろうやあ」「わら持つて来たぞお」と、あまりうるさかつたので父ちやんも「孝司いつてやれ」と、言つた。外はだいぶ暗かつたどうの中にわらなしきながら「へえ、まんまくつたけえ」と聞くと「まんまくうとはら一ぱいになつてモチかんねお」と、としぼうが言つた。ローックも買つて来てどうの中につけた。母ちやんが「ごはんになつたよ」と言つたので中に入つてごはんをたべた。キノコごはんなんだがうれしくておいしい感じがわからなかつた。妹たちは早く御飯をたべて先にどうへ入いつた。ぼくも「おうい、おもしろいけえ」といつて入つていくと「おらさつきからはいつてらあ」と、としぼうが言つた。兄ちやんも火ばちやモチや着物などを持つて来た。一番先にモチを焼いて食べたり本をよんだりした。みんなが大体本を読み終つたころ兄ちやんが「おい。ねら、どつげでつけえ声が出るか競争しようや」というと、としぼうが調子にのつてまつ先になつて「ウアアオオと――」大きい声を出したのでみんながドッとわらつた。トランプの「ババヌキ」をやつていると「ガサッ」と音がして雪のかたまりが「ドッサーン」と落つてきた兄ちやんが「そら来た」とばかり外へ飛び出していつた。毎年鳥追いの時、中学生がどうをこわしにくるのである。やがて兄ちやんがわらいながら入つてきた。「どうしたんでえ」「だれでえ」と、みんなが聞くと「父ちやんだいや」といつた「なんでえ」とみんなが安心した。九時ごろ、兄ちやんが妹に「ねらやめれや」と言つたら「やどう、やどう」と言つて聞かなかつたのでそのまま遊んでいたが、男の子だけで「帰れや、帰れや」と言つたら泣きながらやめて行つた。それからすぐ父ちやんが「ねらうちへ入れや」と言つたので後かたずけをして家に入つた。

かわつた長ぐつ
泉水小 六年 丸山正子

その日も雪がふつていた。学校から帰つて母に。「長ぐつかいられとう。」といいながら家の中に入つて行つた。母は新聞を見ていたのでだまつていた。私は、母がなんにもいわないので一人でごはんをたべた。しばらくたつて新聞から目をはなした母が「それでめつかつたんだけ。」といつた。私はだまつてくびをふつた。私が続けて「さがしたども無いんなんが五年生と一しよにきたがん。」といつた。母はだまつてまた新聞に目をやつている。その時はそれでおわつたが、夕食の時にその話がでた。父が「ちやんと名前をかいておかねんなんが悪いんだ」といつた。でも名前は書いてあるんだ、心配しなくもいいだろうと、私は心に思つていた。きつと私の長ぐつは人にはかれて「はきなれていない人がはいたなあ」と思つているかもしれない――。

「学校に行つてみればわかることだから早く行つてさがしてやろうと」と思つた。

私の長ぐつをはいていつた人はどんなはき方をしているのだろうなあ。早く見つかればいいがなあと思いながら休みの二日間をすごした。

今年の計画
和南津小 六年 小林徹明

「一年の計は元旦にあり」と、昔からいわれているので正月に、今年はどんな計画でいこうかと考えた。先ず去年よりもつと良くなりたいものは勉強をしつかりしたいという事です。中学校に行くと小学校とちがう学課もあるので、早くそれをおぼえるように心がける。

それから一日一日をもつと計画的にすごす。小学校にいる時は、もつとぎようぎ良くしたり、いたずらをしないようにする。友達とはけんかなどしないようにする。悪い言葉をつかわず、正しい言葉で話すようにする、それから悪い事をする仲間などに入らないようにすると、一諸に自分から悪い事をしないように注意する。うちの人のいう事をきいて、良い年を終るようにしたいと思つています。

いろいろ計画はたくさんあるが、計画しても、実行しなければ何にもならないので、上に書いたものの一つでもよいから本気で実行していきたいと思う。

わたしの思つていること
西川口小 六年 小宮山順子

わたしは今まで、なかのよい人とは話はするが。あまりなかのよくない人とは、ほとんど話をしなかつた。家の人にその話をして。こんどからみんなとはなしをするようにしたいというと、母が「お前みたいなじまんこきでも人中では、しないのかや」と言つたので顔が赤くなつてしまつた考えてみると母がいうように家ではじまんもするし話もするが、学校に行くとあまりしやべれない。どうしてこんなになつたかわからないが、どうしても今年はこれをなおしたいと思う。又時間中にえんぴつをけずつたりするので、勉強がおくれてしまつたのだと気がついたので、去年、しないようにしようと思つたがまだ時々あつた。考えるとわたしは家にかえつたらすぐ勉強してそれで終るとねむくなつて本などはそのままねむつてしまつた、よく朝学校のしたくを大急ぎでするので、えんぴつや何かを見ていられなくなつたことが多い。ことしこそは学校から帰つたらすぐべんきようをして終つたら本やえんぴつをよくみておこうと思う。こうすれば学校でえんぴつをけずらなくてもよいので、みんなについて行かれると思う。今年はこの二つをしつかりやろうと思つている。